

## 第三者評価結果

### ①第三者評価機関名

株式会社寺井潔ソーシャルワーカー事務所

### ②施設・事業所情報

名称： インクルしか	種別： 生活介護・就労継続支援B型
代表者氏名： 管理者 山黒 修	定員（利用人数）： 計32名
所在地： 石川県羽咋郡志賀町堀松辰58番地2	
TEL： 0767-32-3510	ホームページ： <a href="http://www.shionkai.or.jp">http://www.shionkai.or.jp</a>

#### 【施設・事業所の概要】

開設年月日	平成29年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）	社会福祉法人四恩会	
職員数	常勤職員： 11名	非常勤職員： 4名
専門職員	（専門職の名称）	
	社会福祉士 2名	看護師 1名
	介護福祉士 3名	調理師 1名
施設・設備の概要	（居室数） 食堂、作業室、創作室、リハビリ室、相談室、浴室トイ他全23室	（設備等） 機械浴、リハビリ機器 パン、厨房作業機器、自動空調換気他

### ③理念・基本方針

基本理念「一人一人が持っている力を信じて自己決定を最大限尊重し、自己実現を共に目指す」運営方針「利用者の意思及び人格を尊重し、生活全体を理解し、職業支援、生活等に関する相談及び助言並びに生活全般への援助を適切に行う」「地域との結びつきを重視し、本人が日常生活の上で必要な社会的・人的資源の活用と連携に努める」

### ④施設・事業所の特徴的な取組

生活介護のサービスでは全体での活動プログラムだけでなく他に行いたい事があれば個別での活動を支援して安定した日々を過ごしていけるようにサポートを行っています。就労継続B型のサービスにおいては弁当受注や内職における作業を行いながら、スキルアップや安定した生活を送れるようにサポートしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 4年 1月 18日（契約日）～ 令和 4年 3月 29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

・四恩会総合研修制度(年間計画)に基づいて研修が行われている。職務経験3年未満の初任者研修、3年以上7年未満の中堅職員研修、経験7年以上のチームリーダー研修、虐待防止・権利擁護研修があり、研修後には参加者からアンケートを採り、研修担当者・事務局で検討して毎年見直しを行っている。また、石川県総合研修センターの研修も年間計画に位置づけ、必要な人には事務局の判断で受講させている。また、研修の情報は常に職員に開示して受講の希望があった場合には、常に勤務上の配慮を行っている。また、事務局が必要であるという判断したときには出張扱いとして受講させることもある。

・理念や基本方針には「利用者を尊重した福祉サービスの提供」について明示されてホームページで公開、玄関に掲示している。その他「職員倫理綱領・行動規範」「権利擁護ガイドライン」などについて総合研修で職員への理解を図っている。

・職員は利用者が話したい時、相談したい時にその都度相談にのり受け入れている。言葉でコミュニケーションをとるのが困難な利用者もいるが、職員は普段から表情や仕草、行動などで意思や希望等を汲み取っている様子が調査時にも何度も見られた。また利用者の状況や理解度に応じて個別的な配慮を行ない、絵カード、筆談等複数のコミュニケーションの方法を使う等の支援や工夫を行なっている点が評価できる。

◇改善を求められる点

・今年度サービスの質の向上に向けて自己評価に取り組み第三者評価を受審し体制作りを始めたところである。評価結果の分析やそれに基づく課題の共有はこれからの作業に期待したい。

・毎日の記録の中に、満足度を記載する部分があるが集計はしていない。利用者面談は随時実施しているが、記録が十分にとられていない。第三者評価受審と連動させて、利用者満足調査への取り組みが望まれる。

・今までは高齢の方や生活の一部としての就労支援B型の利用を希望している方が多いため、就職活動の支援や、障害者就業・生活支援センターやハローワーク等の外部機関との連携の機会が少なかったと聞く。今後の課題として、外部機関との連携や、地域企業との関係性の構築、また「合理的配慮」を促進する働きかけを行っていくことが望まれる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、初めての第三者評価受審となりましたが、自己評価自体も初めて実施し、これまでの取り組みや、課題、重要な運営要素などについて沢山の気づきがありました。結果に関しては特に自己評価でできていたと捉えていた点が、不十分であった項目も多々あり、その中でも実際行っているが記録がきちんと残されていない項目が複数確認することができ、あらためて記録の重要性や、その記録を基にした評価分析などについて大きな課題として認識することができました。また逆にこちらとしては不十分だと捉えていた項目について、創意工夫をもって実施してきた事が評価された面も気づかされ、自信に繋がったところもありました。今後は毎年自己評価を継続する中で、定期的に第三者評価を受審し、更なる改善継続を職員一丸となって進めていきたいと思えます。

⑧評価細目の第三者評価結果（別添）